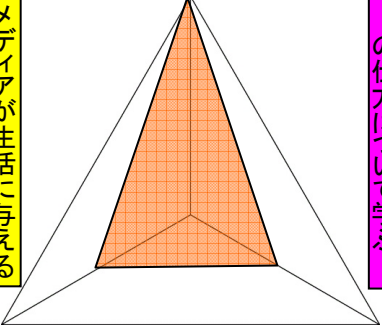


パッケージ名	学校を紹介する番組を作ろう（小学校5年，3単位時間）	
実践のねらい	・自分の伝えたいことを相手に伝えるためには、使う映像や言葉を工夫する必要があることを知る。	
この実践のメディアの活用ポイント	メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方について学ぶ	実践の意図 ○想定する子どもの状況 ・情報発信を行う時にその受け手を意識することが少ない。 ・同じ被写体を写しても、アングルやフレーミングなどによって違う情報が伝わることを理解していない。 ○パッケージの目標 ・伝えたいことがより伝わるように工夫して情報を発信する力を育てる。 ○留意点 ・情報を発信する相手や目的をはっきりさせ、具体的な場面を設定し、伝えたい内容をしぼって番組を作らせることで、お互いの発信した情報を相互評価しやすくする。（このパッケージでは新入学児童保護者会で、新入学児童の保護者に学校の紹介をするという場面を設定している）
		

ⓐ = 情報の受け手としての知識を得る・配慮を知る ⓑ = 情報の送り手としての工夫・配慮を知る

I. 伝えたい学校の特色について話し合う。(15分)

- **番組で保護者に伝えたい学校の特色を5つ選びましょう。**
 新入学児童保護者会で、来年度入学してくる児童の保護者に学校の特色を知らせる番組を見てもらうことを提案する。番組で取り上げたい学校の特色について話し合い、5つにしぼる。

II. 伝えたいことが伝わるように工夫して写真を撮る。(30分)

- **伝えたいことが伝わるように考え、写真を撮ったり使う写真を選んだり加工したりしましょう。** WS: 特色と伝えたいこと
 グループごとに、5つの特色についてそれぞれ特に伝えたいことを話し合い、伝えたいことが伝わりやすいような写真を撮るにはどうしたらいいか考え、写真をとったり、選んだり、加工したりする。
 ⓑ 同じ被写体を選んでも、伝えたいことによってアングルやフレーミングが変わってくることに気づく。

III. 写真の順序を決め、ナレーションを考える。(45分)

- **写真を見せる順序を決め、ナレーションを考え、番組を作りましょう。** WS: 絵コンテ
 写真の順番やナレーションを絵コンテに書いて考え、はっぴょう名人を使ってスライドショーの形式で番組を作る。
 ⓑ 伝えたいことを相手に伝えるためには、写真を並べる順序、つけるナレーションを吟味する必要があることに気づく。

IV. 発表会を開き、伝えたいことが伝わっているか相互評価をし、番組を見直す。(30分)

- **番組の発表会をし、伝えたい学校の特色が伝わっているかお互いにアドバイスしましょう。** WS: アドバイスシート
 グループごとに特に伝えたかったことを発表し、それがどう伝わっているかを評価しあう。
 ⓐ 同じテーマで番組を作っても、写真の取り方やナレーションによって伝わる内容が違ってくることに気づく。
 ⓑ アドバイスを元に、自分たちの番組を見直し、伝えたいことが伝わりやすいように手直りする。

V. 見直した番組をおたがいに見あい、伝えたいことがよく伝わっている作品を選ぶ。(15分)

- ⓐ 見直した番組の発表会を開き、伝えたいことがよく伝わっている番組を選ぶ。